

●予習・復習ノートの構成と使い方 ————— 4

Unit	ページ	テーマ	語数	出題校	Reading Skill ●読み方のコツ	Sentence Structure ●構文のポイント					
						①	②	③	④	⑤	⑥
1	6	エネルギー	364	横浜国立大	話の流れを意識しながら読む	it (形式主語) + that/ 疑問詞節	Cの働きをする不定詞	It appears that ~	were to do(仮定法)	no matter	have no choice but to do
2	10	言語	457	京都外国語大	itの幅広い使い方を理解する	V + O + to do	make sure (that) ~	not A but B	what(関係代名詞)で 始まる文	so that ~	主語の働きをする 動名詞
3	14	教育	462	—	ディスコース・マーカーに着目する	強調構文	the way S+V	結果を表す不定詞	動詞+代名詞+副詞	補足説明を加える 分詞構文	部分否定
4	18	エッセイ	517	熊本県立大	一般論と具体例の関係を考える	make + 抽象名詞	be likely to do	with+抽象名詞	V + (前置詞 ...) + O	従属接続詞に続く (S+be動詞)の省略	to one's+ 感情を表す抽象名詞
5	22	心理学	470	聖心女子大	実験や調査の意味を考える	関係代名詞+ S + V + V	知覚動詞+O+~ing	名詞節を作る whether	前置詞+関係代名詞	not only [just] A but (also) B	意味上の主語+ 副詞的用法の不定詞
6	26	環境問題	545	慶應大	論理的思考力を働かせる	be responsible for ~	The truth is that ~	(a) right to ~	~, many of whom ...	I wish ~, but ...	無生物主語-tell
7	30	比較文化	504	玉川大	比喩表現を理解する	as such	play a part	否定を強調する語句	speak of A as B	likelyの比較級	(and)yet
8	34	生物	537	早稲田大	文章の内容を要約してみる	have trouble ~ ing	have an effect on ~	be inclined to do	an increase in the number of ~	may well ~	比較級を強調する much
9	38	脳科学	532	神戸大	二項対立をとらえる	if not	A rather than B	変化を表すinto	result in ~	A as well as B	as it is
10	42	人物評伝	576	東京外国語大	行間を読む	過去完了(進行)形	find+O+C	if節が省略された 仮定法	対比を表すwhile	動詞を強調するdo	独立分詞構文
11	46	遺伝子研究	549	金沢医科大	時制・仮定法に注意しながら読む	spend + O + ~ ing	depend on [upon] ~	, so that ~	as(~するにつれて)	make one's way型の 表現	lead to ~
12	50	インターネット	583	電気通信大	文章の結論を正しくとらえる	文頭に置かれた不定詞	enough for A to do	so ~ (that) ...	倍数の表現	反復を避けるための 省略	V+O+that節
13	54	コミュニケーション	631	青山学院大	文の情報構造を意識する①	with + A + ~ ing	進行形の受動態	would rather V1 than V2	A, if not B	as if to do	have no doubt that ~
14	58	人権問題	629	—	指示語に着目する	make + O + C	nor+V+S	that of ~	put(表現する)	(理由)を表す for	get+O+to do
15	62	社会学	597	青山学院大	文の構造を正確にとらえる	<場所+ V + S>の倒置	「~すればするほど...」	it is+過去分詞 +that ~	there is ~+ 分詞	even+比較級	関係形容詞のwhat
16	66	生活環境	668	立教大	文の情報構造を意識する②	what + S + be 動詞	仮定法過去	help(+O)+ 原形不定詞	仮定法現在	否定を含む副詞+ V+S	場所以外の先行詞+ where
17	70	読書論	686	都留文科大	文章中の数字の意味を正しくつかむ	代名詞の one	「~につき」の意味を 表すa/an	assume O to be C	「人々」の意味を表す those	差を表す語句+比較級 +than ~	接続詞のwhere
18	74	健康	653	神戸女子大	キーワードの意味を正確につかむ	否定語+原級 / 比較級	be動詞+to do	could have+ 過去分詞	be used to do	practically	同じ名詞の繰り返しを 避けるために使う those
19	78	食糧問題	666	法政大	国語力と一般常識を使って考える	注意すべき what (関係代名詞)	vast quantities of ~	contribute to ~	given that ~	as much as ~	not A so much as B
20	82	グローバル社会	733	北海道大	文章を全体的にとらえる	C+be動詞+S	that is (つまり)	意味上の主語+動名詞	as it once was	more and more	共通関係

●記述答案作成のポイント ————— 87